

ほうれんそう調査方法

1 試験区ならびに調査対象株数及び面積

項 目	必要株数(最少株数)	必要面積(最小面積)*
試験区(1区当り)	6畝×10株=60株(6畝×8株=48株)	0.63㎡(0.5㎡)
調査対象*** (1区当り)	生育調査等	20株(12株)
	収量調査等	20株(12株)

*: 栽植密度を畝幅15cm×株間7cm、a当り9523株としたときの面積

2 耕種概要

項 目	単 位	備 考
栽植密度	株数	(株/a)
	畝間	(cm)
	株間	(cm)
1区面積		(㎡)
反復数		(反復)
播種期		(月日)
播種粒数		(粒/株)
播種方法		
間引き日		(月日)
前作物		()
堆肥施用		(t/a、月日)
基肥量	N	(kg/a)
	P ₂ O ₅	(kg/a)
	K ₂ O	(kg/a)
土壌区分		
土性		
腐植		
除草剤・病虫害防除		(薬剤名、月日)
使用資材		(資材名、月日～月日)

3 生育調査

項目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁 調査
出芽	始	播種粒数の5～10%が出芽した日	A	観察	月日	1
	期	播種粒数の40～50%が出芽した日	A	観察	月日	1
	良否	出芽の揃い、出芽勢の程度を観察 [良]5～[不良]1	A	観察	指数	1
抽だい	始	5～10%の株が抽だいた日	A	観察	月日	1
	期	40～50%の株が抽だいた日	A	観察	月日	1
収穫期		50%以上が規格内株となり、収穫可能となった日	A	観察	月日	1
収穫到達日数		播種日から収穫日までの日数	A	算出	日間	1
収穫期における	障害の種類 発生程度	種類(抽だい、萎凋病など) 5:無 発生が認められない 4:微 10%未満の株に発生 3:少 10～20%未満の株に発生 2:多 20～40%未満の株に発生 1:甚 40%以上の株に発生	A	観察	指数	1
収穫期における	葉数	葉長2.5cm以上の葉	A	測定	枚	1
	草丈	最大葉における	A	測定	cm	1
	葉柄長	最大葉における	A	測定	cm	1
	葉幅	最大葉における	A	測定	cm	1

4 収量調査(a当り)

項目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁 調査
総収量	株数	収穫した総株数より	B	算出	株	1
	重量		A	算出	kg	10g
規格内収量	L	草丈26～30cm未満	B	算出	kg	10g
	M	草丈22～26cm未満	B	算出	kg	10g
	計		A	算出	kg	10g
株数割合	規格内 抽だい株 病虫害株 規格外	[抽だい茎1cm以上の株] (株数/収穫株数) × 100	A	算出	%	1
欠株率		((収量調査対象栽植株数－収穫株数)/収量調査対象栽植株数) × 100	A	算出	%	1

5 特性調査

項目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁 調査
平均一株重		規格内株重/規格内株数	A	算出	g	1
草姿		[立]5～[中]3～[開]1	A	観察	指数	1
葉	形	[丸]5～[中]3～[剣]1	A	観察	指数	1
	色	[濃]5～[中]3～[淡]1	A	観察	指数	1
	色(SPAD)	最大葉における葉緑素計測定値	B	測定	-	1
	縮み	[強]5～[中]3～[弱]1 最大葉面における‘しわ’の程度	A	観察	指数	1
	欠刻	[深]5～[中]3～[浅]1	A	観察	指数	1
根色		[濃]5～[中]3～[淡]1	B	観察	指数	1
品質		[良]5～[中]3～[否]1	A	観察	指数	1
収穫作業性		[易]5～[中]3～[難]1	A	-	指数	1
栽培の難易		[易]5～[中]3～[難]1	A	観察	指数	1
生育速度		収穫到達日数で評価 5: 早 標準品種に比べて5日以上速い 4: やや早 標準品種に比べて2～4日早い 3: 並 標準品種と同時期(-1～+1日) 2: やや遅 標準品種に比べて2～4日遅い 1: 遅 標準品種に比べて5日以上遅い	A	算出	指数	1

6. 試験調査・栽培上の留意点

- 1) 播種は、試験区内の生育を揃え、欠株の発生を防ぐために2～3粒の点播とし、本葉2～3葉期頃に間引きを行う。
- 2) 高温期の試験においては、播種から間引きの間まで遮光・遮熱資材等を利用しハウス内温度を下げる。
- 3) 一斉収穫ではなく、収穫期に達した試験区毎に収穫し収量調査を行う。
- 4) 規格内(出荷基準)の草丈は、地域での出荷基準に合わせる。